

2011 (平成 23) 年 12 月 1 日

関係各位

龍谷大学大学教育開発センター
センター長 長谷川 岳史
(公印省略)

第 7 回龍谷大学 FD フォーラム 2011 「学びのコミュニティーをデザインする」開催の
ご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、龍谷大学大学教育開発センターでは、毎年大学教育や FD 活動に関する社会性・話題性のあるテーマを設定し、FD フォーラムを開催しています。

今年度は、テーマを「学びのコミュニティーをデザインする」と題して、学びの「空間」設計とそこに描かれるコミュニティーが大学教育にどのような影響を与えるのか、これからの大学のあるべき姿について考えます。

つきましては、学事ご多忙の折誠に恐れ入りますが、是非ご参加くださいますようご案内させていただきます。

また、リーフレットを同封致しましたので、貴学の教職員の皆様にご周知いただきますよう宜しくお願い致します。

敬具

記

1. テーマ
「学びのコミュニティーをデザインする」
2. 日時
2011 年 12 月 23 日 (金) 天皇誕生日 13:30~16:30
3. 会場
龍谷大学深草学舎 3 号館 201 教室
4. プログラム
同封のリーフレットをご参照下さい。
5. 参加申し込み
参加をご希望の方は、FAX またはメールで、氏名、所属、電話番号、メールアドレスを記入し、12 月 21 日までに龍谷大学大学教育開発センター (fd-ryukoku@ad.ryukoku.ac.jp) までお申し込み下さい。
6. お問い合わせ先
龍谷大学大学教育開発センター
TEL:075-645-2163 FAX:075-645-2190 e-mail:fd-ryukoku@ad.ryukoku.ac.jp
※ チラシにつきましては、下記ホームページにも掲載しておりますので、ご参照下さい。
【龍谷大学大学教育開発センターホームページ】
<http://www.ryukoku.ac.jp/news/detail.php?id=3291>

以上

学びの コミュニティーを デザインする

いま、大学は、高度な専門性を有した自律的な人材育成と教育の「質」の保証を求められている。その一方で、大衆化にともなう学生の多様化に拍車がかかり、学力やコミュニケーション力の低下、就職状況の悪化など、大学は深刻な問題を抱えながら、ラーニングコモンズやライティングセンターなど、新たな支援環境の整備や教育改善といった対処に追われている。

様々な環境の変化に対応しつつ、高等教育機関が発展していくためには、本当は何かが必要なのであろうか。

今回のフォーラムでは、「学びのコミュニティーをデザインする」というテーマのもと、学びの「空間」設計とそこに描かれるコミュニティーが大学教育にどのような影響を与えるのか、これからの大学のあるべき姿について考える。

日 2011年
時 12月23日(金・祝)
13:30~16:30

会 龍谷大学
場 深草学舎3号館
201教室

事前申込
必要

参加費
無料



基調講演

学びの空間が大学を変える

山内 祐平氏 (東京大学大学院情報学環准教授)

この100年、大学の学習空間にはほとんど変化がなかった。社会から高度な専門性を持つ自律的な人材の育成が要請されている現在、大学の学習空間はどうあるべきなのだろうか。能動的学習を支援する新しい形の教室「アクティブラーニングスタジオ」、図書館を情報を活用した学びの場に変える「ラーニングコモンズ」、対話によって大学を社会に開く「コミュニケーションスペース」の動向を通じて、学習空間から今後の大学像を考える。

事例報告1

大学に求められる「場」とは ～学生達の意識の変化から～

土山 惣一郎氏 (株式会社類設計室 取締役・大阪設計室長)



事例報告2

学生の学修支援環境について

村岡 倫氏 (龍谷大学 学生部長・文学部教授)



パネルディスカッション

山内 祐平氏 土山 惣一郎氏 村岡 倫氏

コーディネーター

長谷川 岳史 (龍谷大学 大学教育開発センター長・経営学部准教授)

参加申込方法

参加をご希望の方は、FAX又はメールで氏名、所属、電話番号、メールアドレスを記入して
12月21日(水)までに
お申し込みください。

お問い合わせ
龍谷大学 大学教育開発センター
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
TEL (075)-645-2163 FAX (075)-645-2190
E-mail fd-ryukoku@ad.ryukoku.ac.jp

龍谷大学 深草学舎 3号館



交通アクセス
●京都市営地下鉄丸太線「くいな橋」駅下車、徒歩約10分
●JR奈良線「福知山」駅下車、徒歩約8分
●京福「深草」駅下車、徒歩約3分
※会場へは公共交通機関をご利用ください。

主催 龍谷大学 大学教育開発センター

後援 公益財団法人大学コンソーシアム京都
全国私立大学FD連携フォーラム

協賛 関西地区FD連絡協議会

PROGRAM

学びの空間が大学を変える



この100年、大学の学習空間にはほとんど変化がなかった。社会から高度な専門性を持つ自律的人材の育成が要請されている現在、大学の学習空間はどうあるべきなのだろうか。能動的学習を支援する新しい形の教室「アクティブラーニングスタジオ」、図書館を情報を活用した学びの場に変える「ラーニングcommons」、対話によって大学を社会に開く「コミュニケーションスペース」の動向を通じて、学習空間から今後の大学像を考える。

山内 祐平氏 (東京大学大学院情報学環准教授)

1967年生まれ。東京大学大学院情報学環准教授。大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程修了後、大阪大学助手・茨城大学人文学部助教授を経て、現職。博士(人間科学)。専門は教育工学・学習環境デザイン論。空間・活動・共同体・人工物の観点から情報化社会における学習環境のデザインについて研究を進めている。情報学環・福武ホール場のデザインに対して2008年度グッドデザイン賞を受賞。



大学に求められる「場」とは ~学生達の意識の変化から~

我々類設計室は、常に時代を読み、人々の欠乏を形にする事に専念してきたが、それらを実現する上で、昨今の学生達の意識の変化に注目している。今、時代は大きな転換点を迎えており、学生達は新しい「場」を、観念的ではなく、実感を伴う形で模索していると感じる。同じ類グループである「類塾」における生徒達の様子や、我々の設計実績を交えながら、少しでも参加者の方の参考になる内容を伝えられればと思っている。

土山 惣一郎氏 (株式会社類設計室 取締役・大阪設計室長)

1957年生まれ。東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻修士課程修了。1982年3月株式会社類設計室入社～現在に至る。



学生の学修支援環境について

本学でも学生の学修支援に関して様々な取り組みや環境が用意されている。本年度の指定研究プロジェクト「学生の学修支援環境に関する研究」において、本学の学修支援環境が十分であるか、また機能しているか検証を進めてきた。プロジェクトでは検証内容を踏まえ、学生、教員が本学の学修支援環境を体系的に把握するための「学修支援ガイドマップ」の作成を進めている。研究プロジェクトの中間報告を交え、学生部長という立場から、本学の学生に対する支援の現状と課題について報告する。

村岡 倫氏 (龍谷大学 学生部長・文学部教授)

1957年生まれ。龍谷大学大学院文学研究科東洋史学博士後期課程単位取得満期退学後、龍谷大学非常勤講師・文学部専任講師・文学部助教授を経て、現職。教養教育科目担当。研究の専門はモンゴル帝国史。

会場：龍谷大学深草学舎3号館201教室

龍谷大学 深草学舎 3号館

事前申込
必要

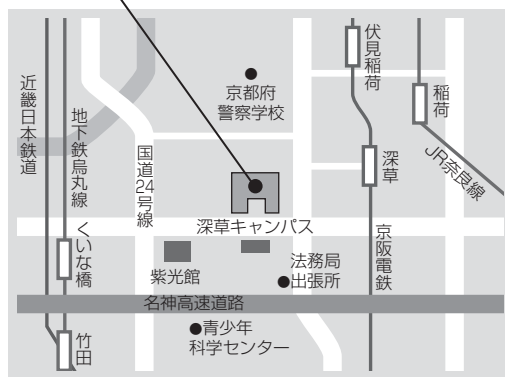
参加費
無料

参加申込方法

参加をご希望の方は、FAX又はメールで
氏名、所属、電話番号、メールアドレスを記入して

12月21日(水)までに

お申し込みください。



交通アクセス

- 京都市営地下鉄烏丸線、「くいな橋」駅下車、徒歩約10分
 - JR奈良線「稲荷」駅下車、徒歩約8分
 - 京阪「深草」駅下車、徒歩約3分
- ※会場へは公共交通機関をご利用ください。

「学びのコミュニティーをデザインする」フォーラム FAX参加申込書
FAX (075)-645-2190 E-mail fd-ryukoku@ad.ryukoku.ac.jp

氏名

所属

電話番号

メールアドレス

@